

山口市芸術家育成支援事業

第10回やまぐち新進アーティスト大賞

ノミネート作品展

山口市には文化を大切にする気風があり、創造的な芸術活動が身近な暮らしや、まちのなかに息づいています。山口市芸術家育成支援事業は、将来一層の活躍が期待される本市のアーティストに賞を贈ることで、創作活動を奨励し、また、発表機会の提供を行うことにより、アーティストの育成を図るとともに、地元のアーティストを地域や住民が支える仕組みづくりを目指すものです。

このたび、やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会により最終選考にノミネートされたアーティストを、その作品とともに紹介いたします。

応募アーティスト数：9名

最終選考ノミネートアーティスト：9名

さえき かずあき
佐伯 和章

さ さ き のりこ
佐々木 範子

すすき けいじろう
鈴木 啓二郎

たかはし もとすけ
高橋 基介

にしざわ ゆう
西澤 佑

ピピリ ロベルト

もりみつ あさこ
森光 亜紗子

やまと けいた
大和 佳太

やまね
山根 みどり

(50音順・敬称略)

第10回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員

足立明男（山口情報芸術センター館長）

石崎泰之（山口県立萩美術館・浦上記念館副館長）


兼原啓二（山口短期大学教授）

斎藤郁夫（山口県立美術館副館長）

水谷由美子（山口県立大学国際文化学部部長）

大和保男（陶芸家）

(50音順・敬称略)


	ふりがな アーティスト名	さ え き か ず あ き 佐伯 和章		
	年齢	43	創作活動の拠点	白石
	芸術家として 目指す方向性	彫金(アクセサリー)作家活動と合せ、地域の作家仲間と、さまざまな形態の展示発表を、山口を拠点にして企画し、発信していきたいと思っています。		



YU/環 (リング)

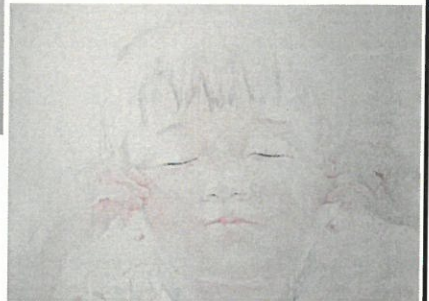
しんちゆうを主素材としたインスタレーションです。
 なんてんの実を、さまざまな物に見立て、金属と合わせた構成で、いろんな情景を楽しんでもらえたらと思います。



	ふりがな アーティスト名	さ さ き の り こ 佐々木 範子		
	年齢	45	創作活動の拠点	吉敷
	芸術家として 目指す方向性	市内で創作、発表活動が続けながらチャンスがあれば市外、県外でも、より多くの方に向けて発表していきたいです。		

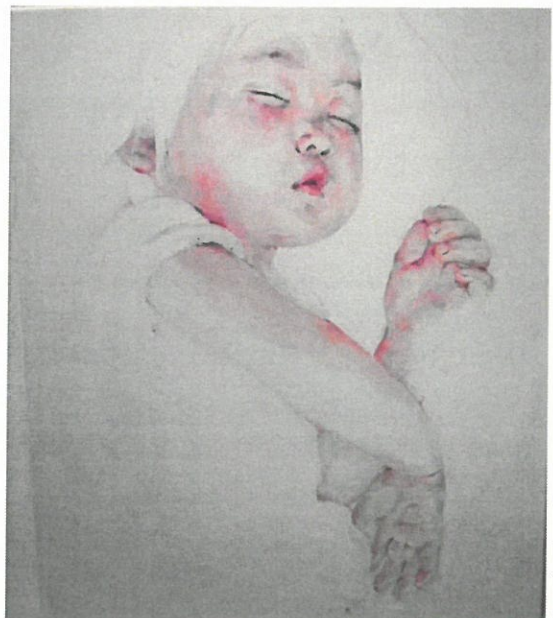
ある朝

息子が2才の頃、食事中に遊んでしまっているところを描きました。この子のとなりにいられる事がとても幸せに思えた、ある朝の情景です。




おすわり

息子がおすわりできるようになったところです。柔らかな手足と透きとおる肌を記憶に留めておきたくて描きました。



昼下がり

私のとなりで遊んでいた娘が眠ってしまった おだやかな昼下がりを描きました。寝顔は健やかで美しく、大きくなってもこのまま幸せでい

	心のな アーティスト名	すずき けいじろう 鈴木 啓二郎		
	年齢	36	創作活動の拠点	湯田
	芸術家として 目指す方向性	昨年に引き続き二度目の出願になります。2年ほど前に山口市でアートやデザインの事業を行う個人事業主として届出を出し、これまでなかなか思うように安定した収入や生活状況を得られない状況が続いています。そのような状況の中、2017年度は昨年度に比べ、積極的に滞在制作、国外での視察やイベント参加、そして、それらの成果展覧会などを実施することができました。今後はより一層、作品の品質を高め、生活の糧につながるようなギャラリーでの展示や国内外での活動につなげていきたいと考えています。		

《宇宙毛布スーツ・パターン(黄金のフリース)》

この作品は、紀元前3世紀に書かれた「アルゴナウティカ (Argonautica)」という叙事詩に出てくる未知の地(コルキス)から金羊毛(Golden Fleece)を取り戻すという航海の物語に対して、私的に現代的な解釈で制作したものです。NASAが宇宙プロジェクトのために開発されたスペース・ブランケットを生地として、スーツの型を切り取って残った素材を展示しています。その主体となるスペース・スーツ自体は、どこかに行ってしまう、その痕跡だけが残っているという作品です。



《風に吹かれて見える風景…》

晴天の空を撮影した写真を旗に写真印刷した旗作品です。青空の写真が掲げられ、風によって空の風景写真が揺れる様子を表現した作品です。風が吹けば形状の変わる旗の特性や、タイトルにあるような文字遊びの要素、また空という同質のものを代替物で表現する手法の組み合わせによって、無目的で詩的な表現をした作品です。

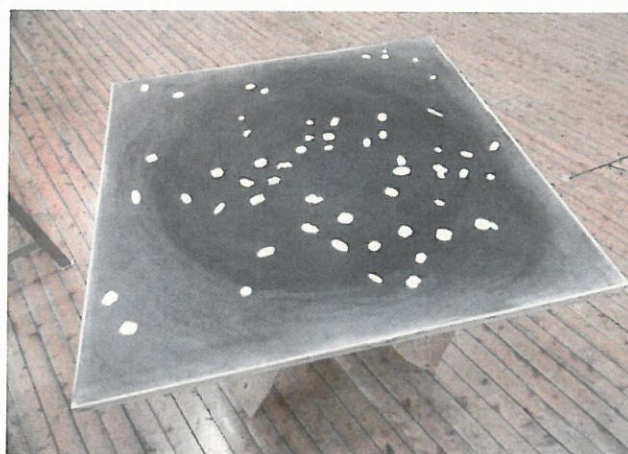
《声、声、声…(#2)》

宇宙や未来、神話を取り扱った漫画7種類から吹き出しを切り出して、月の裏側のような暗い宇宙空間に漂う叫び声表現した素描コラージュ作品です。それぞれの吹き出しはすでに有名漫画家による想像上のキャラクターの発した言葉の数々で、それぞれ時代も設定も異なる内容がこの絵画空間では混在しています。ある意味では30代~50代くらいの漫画世代の人たちのもっていた懐かしい未来像や精神風景を表現した作品です。

漫画: 鉄腕アトム、聖闘士星矢、マクロス、新世紀エヴァンゲリオン、さらば宇宙戦艦ヤマト、銀河鉄道999、ブッダ

HP・ブログ等

<http://www.cagerowproduction.com/>






ふりがな アーティスト名	たかはし もとすけ 高橋 基介		
年齢	31	創作活動の拠点	大内
芸術家として 目指す方向性	山口市内で制作を続け、装身具、アクセサリーを通して伝統が日常に親しまれるきっかけ作りに助力したいと考えております。廃れた歴史のある技術であるコトを念頭に置き、講義やワークショップ等、「知る機会」に携わる場を特に大切にしたいと考えております。		



もくめがね たんきゅうしん
木目金「鍛求心」

素材作りに始まる木目金。炎から取り出された金属は、黒く燻され肌は荒れ、とても美しさとはほど遠い様相である。その金属塊を美しさを求めて削り、鍛え、磨く。人の手によって生み出される自然美とは何なのか。制作工程を「切り取る」と、そこには対話がある。



	ふりがな アーティスト名	にしざわ ゆう 西澤 佑		
	年齢	23	創作活動の拠点	平川
	芸術家として 目指す方向性	来年は、防府市で新社会人となるが、拠点を山口におき、この風土の中で制作活動を意欲的に取り組んでいきたい。制作することが、自分自身の生きる糧であり、その作品を通しての多くの人との出会いが、制作の幅を広げてくれると感じており、今後も市内・外問わず発表していきたいと考えている。		

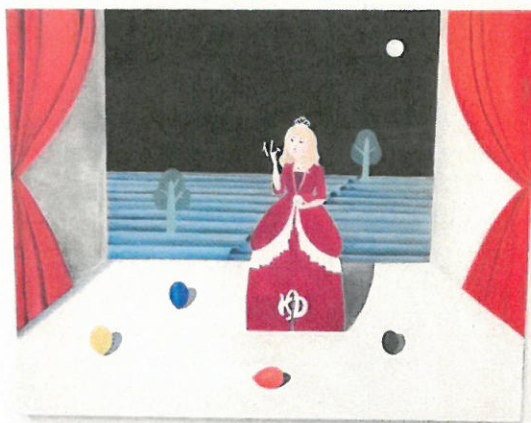
言いたいこと我慢してたら膀胱炎になるよ

ルネ・マグリット作「大家族」のオマージュ作品。鳥のモチーフをトイレのモチーフにしたのは、小中学時代によく体験する「トイレ一緒に行こう」という謎のグループ行動(仲よし)への問いかけから。同一化する集団のなかで、意志表示がうすれていくことへの危惧。



こけしだった私

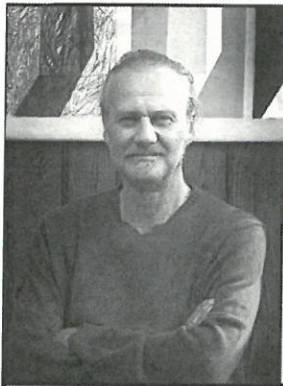
ルネ・マグリット作「嵐の装い」からヒントを得た作品。小さな頃、誰しも憧れる金髪のお姫様。舞台の上で着飾っても、心は日本人なのに。温泉街で生まれ育ち、田んぼや段々畑に囲まれて、日本人として生きてきた自分を少し滑稽に描いた作品。



オブジェ(女)

シュールレアリスムへの傾倒シリーズのひとつ。女性の神秘性を表したオブジェを描いた。不安定な形のなかに、しっかりと芯は通っている。儚く美しい理想的な女性像ではなく、社会のなかでたくましく生きていく女性像。





ふりがな アーティスト名	ピビリ ロベルト		
年齢	57	創作活動の拠点	大殿
芸術家として 目指す方向性	山口市に拠点を置き、山口の自然や環境、文化にインスピレーションを得ながら、自分らしい作品を追求し、市内外やイタリアで発信をしたい。山口とイタリアのアーティストどうしの交流		

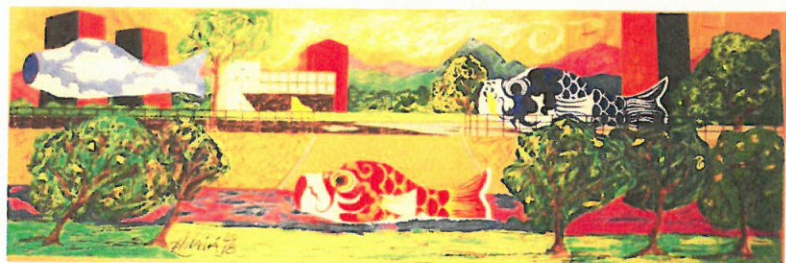
Kameyama

紅葉の晴れた日に訪れた亀山公園で、毛利敬親公の像をみたときの新鮮な感覚を忘れたくなくて、その時の鼓舞する気持ちを表すため、ポップに描いた。



Akarengamae

一ノ坂川流域に住む私は、よく赤レンガの前も通ります。清流に、もし鯉のぼりが遊びに来たら、と思い描きました。

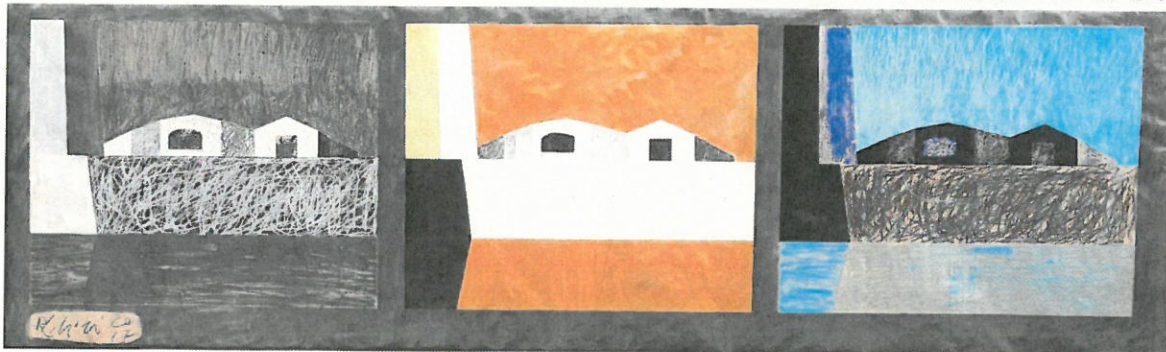


テッシーノ川からみた風景

同じ川の風景ですが、私の育った中部イタリアのスポレートという街の川を描いています。普段は水がなくて乾いています、雨が降ると増水して川になります。

画材には、米袋を使っています。これは日本に来てから発見したもので、丈夫な紙を探していたところ、ホームセンターで見つけました。

日本に来て1年3ヶ月ですが、山口は第二の故郷です。芸術活動においては、インスピレーションの宝庫になっています。





ふりがな
アーティスト名

もりみつ あさこ
森光 亜紗子

年齢

38

創作活動の拠点

吉敷

芸術家として
目指す方向性

市内に拠点をおき、国内外の公募や展覧会に積極的に挑戦していきたいと思っています。

命の宴



自然の造形美に惹かれ主に植物を被写体に撮影しています。少し不思議な風景に仕上げたかったので、水中で撮った様に見え且つ光の拡散が起こる様レンズを工夫しました。



ふりがな
アーティスト名

やまと けいた
大和 佳太

年齢

32

創作活動の拠点

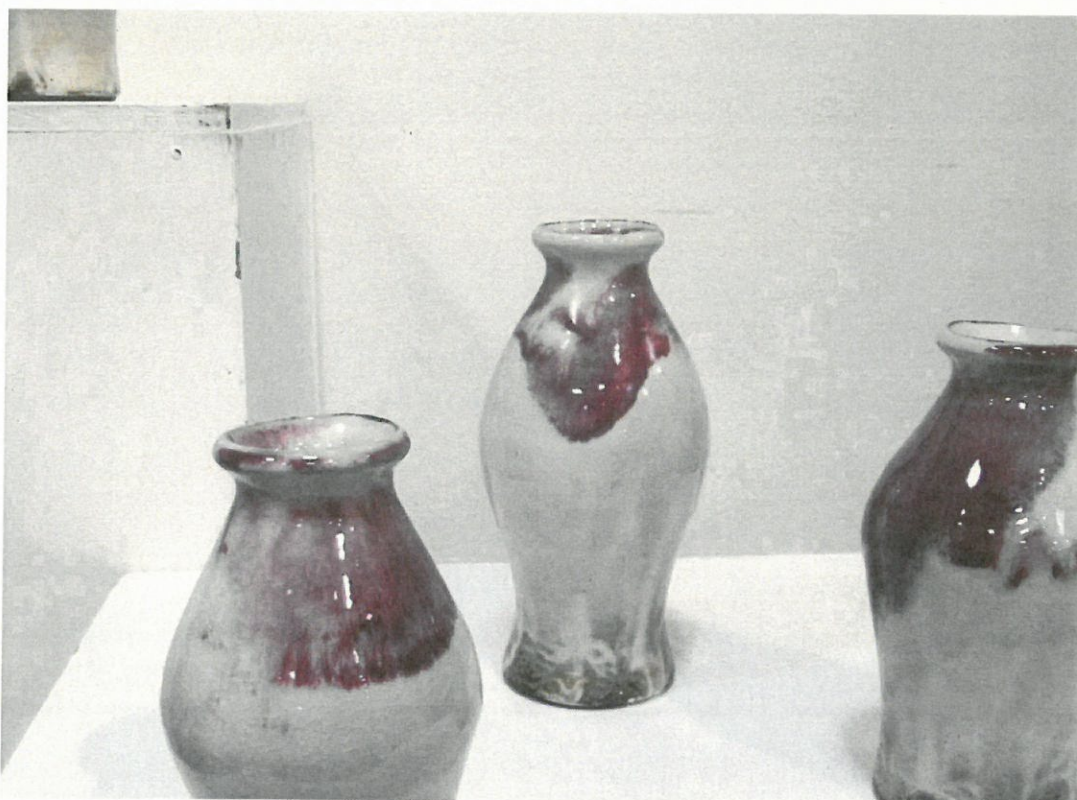
宮野

芸術家として
目指す方向性

県内の素材、伝統の技法を生かしながら、自分独自の新しく普遍性のある作品作りをしていきたいです。

しんしゃこひきはなれ
辰砂粉引花入

萩焼の伝統技法である粉引に山口の木の灰を使った釉薬を掛けその上に赤い辰砂釉を流して掛けることで釉の流れを作りました。くだもの様なおいしそうなお色が出せたらいいなと思っています。



HP・ブログ等

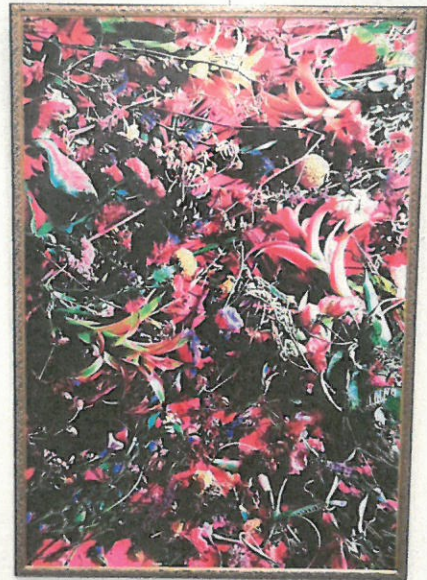
<http://meizengama.jp/>



ふりがな アーティスト名	やまね みどり		
年齢	56	創作活動の拠点	小鯖
芸術家として 目指す方向性	生活の地で感じたことを形にし、山口での発表を基盤に活動したい。また、コンクールにも参加し、作品価値を確かなものにし、活動の場を広げていきたいと考えている。子どもの育成や地域での活性化となるワークショップも今後の夢である。		

さんげらんぶ
散華乱舞Ⅲ

様々な花が、偶然に出会って、躍動し、響き合っています。
赤い花、青い花、名前を知っている花もあれば、名もなき花もあります。
咲き誇った花もあれば、しおれたり、枯れた花もあります。
花屋で売られていた商品の花は、地球の裏側からやってきたのでしょうか？近所の道端にひっそり生えていた野花もあります。



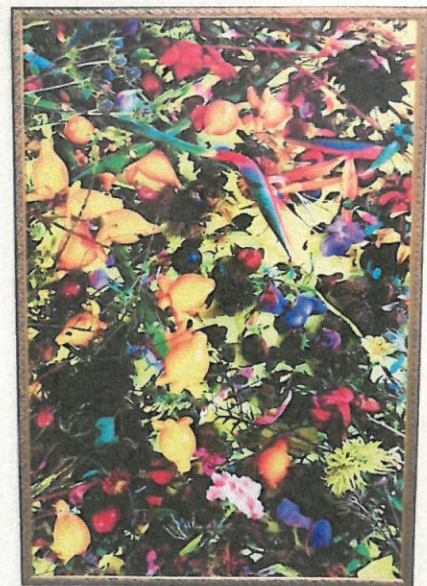
さんげ その
散華の園

左は、秋の散華の世界で、右は春の散華の世界です。



さんげけっじつ
散華結実

自宅の裏山に「岸根ぐり」の大きなイガとくり、スーパーで出会った姫りんご。美容院の開店祝いのフォックスフェイスも、この場所にやってきた。美しい花たちはいずれ散り、悲しい死を迎えても、かならず実がなり、収穫の秋を迎えるのです。無数に落下したどんぐりたちは、すでに新芽を大地にしっかりと力強くもぐらせています。桜は春に咲くとばかり思っていたら、「四季桜」は冬空に凜と咲いていました。国を追われ、また、漂流する人々がこの地球にいます。国同士の間の不安や住んでいる国の未来への疑念。心の闇は、人々の中に深く広がり、覆いつくしているように感じます。



主催 / 山口市